

# 2023年度岡山史料ネットの活動について

岡山史料ネット

✉ okayamasiryonet@gmail.com

🌐 <http://okayamasiryonet.s1008.xrea.com/>



website QR code

## 資料修復活動について

2023年3月、岡山史料ネットの活動場所が岡山大学津島キャンパスの施設整備にともなって移動し、面積も少し広くなりました。この場所で、引き続き2018年の西日本豪雨の際にレスキューした資料の修復活動を実施しています。Covid-19の感染症法上の取扱いが変更されたことで、5月・6月・12月に固着資料の剥離、洗浄、乾燥といった一連の修復作業をボランティアのみなさんと実施しました。

また、自治体史等を典拠とした県内の史料所在情報データベースの構築も継続しています。



参考：修復活動のようす（2023年5月）

## 活動報告会「地域の歴史を掘り起こす」を開催

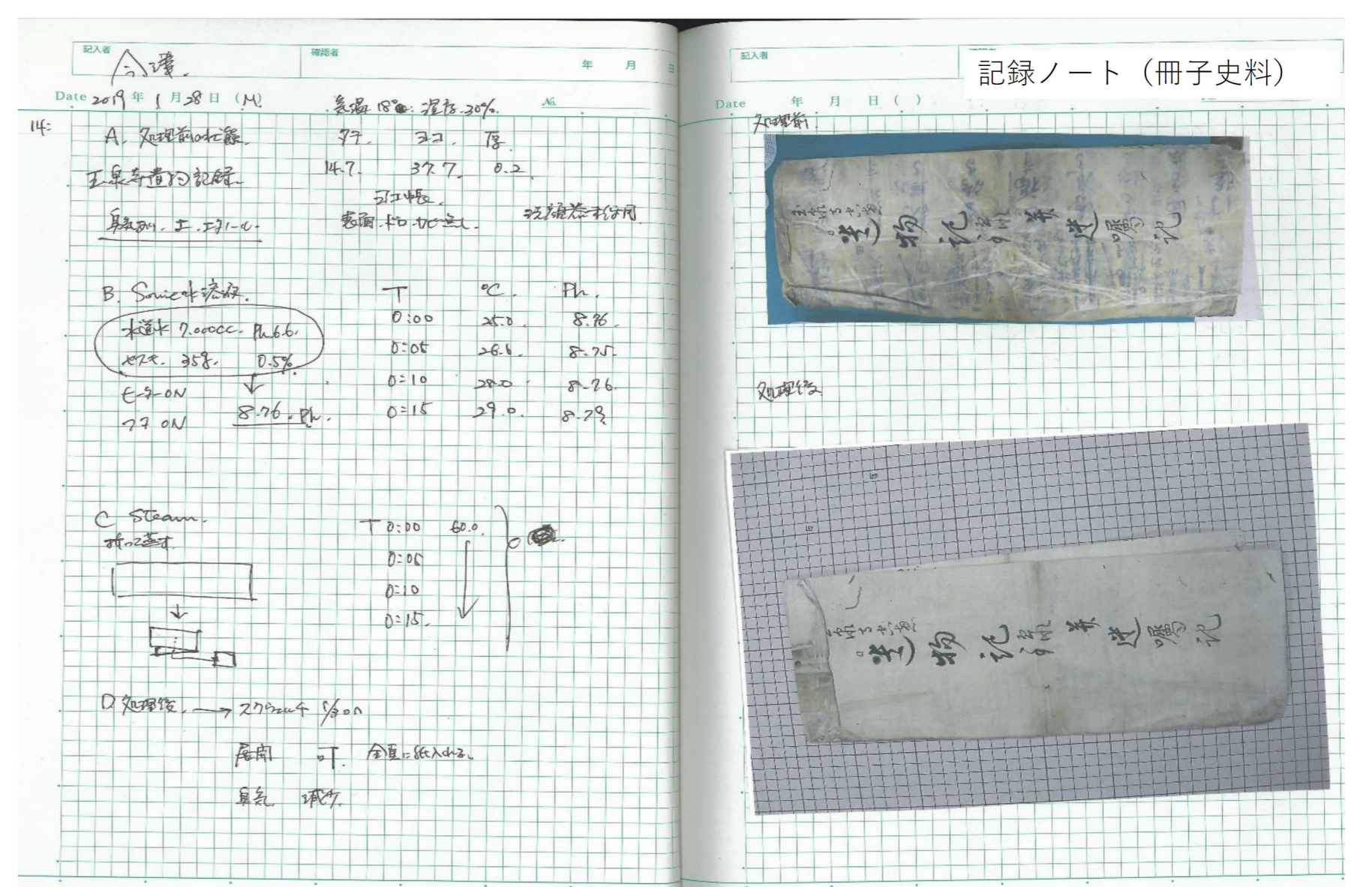


活動報告会のようす（2023年8月）

8月5日に今年度の活動報告会を岡山県立美術館で開催しました。今回は「地域の歴史を掘り起こすーひと・まち・たてもの一」と題して、元NHKディレクターの村上裕康さんから、映像や証言などを掘り起こした番組制作やそこでの取材活動の様子、また現在関心を持っておられる旧岡山放送局の保存と活用などを切り口として、これまでのご自身の取り組みなどをお話しいただきました。25名の参加がありました。詳細はウェブサイト掲載のニュースレター第10号をご覧ください。

## 「水損固着文書開披に関わる研究会」に参加

11月29日に、九州国立博物館で文化財防災センターと同館が主催した資料の修復方法に関する研究会が開催され、岡山史料ネットでの取り組み状況について報告を行いました。私たちは資料の洗浄にセスキ炭酸ソーダ0.5%水溶液を用いていますが、灰汁などを用いた方法の紹介や、水損に関するカビや菌の特徴といった生物・化学の分野からの報告もありました。これからの岡山での活動にも活かしていきたいと思います。参加者は、修復技術者・学芸員・史料ネット関係者など40名でした。



2019年の作業記録ノート（東野将伸さん報告資料より）

## 会員を募集しています

活動を支えてくださる会員（年会費1,000円議決権ありの会員と、年会費無料のサポート会員）を募集しています。どなたでもご参加いただけます。事務局までご連絡ください。（文責・松岡）